

1991~1992

会長 深 阪 好 孝



当時、我が和泉南ロータリークラブも創立7年目を迎え、創立以来歴代会長をはじめ、全員一致、団結した、まとまりのある和泉南ロータリークラブとして、やっと基礎固めが出きつつある時期でございました。こうした重要な時に若輩者の不肖私に光栄ある、和泉南ロータリークラブの会長を仰せつかり必死の覚悟を決めての舟出だったことが思い浮かべられます。

さてこの年度は、R・Iのテーマでもある「自分を越えた眼を」を持ち、視野を広く、見て聞いて考えて、全会員一致協力したロータリー活動を展開して行こうと考えました。又会員相互の親睦と友情、そして信頼が、クラブ発展の原点ではなかろうかと思ひ、この1年原点にもどり、各委員会活動を通じて、クラブの充実化を計り、地区のテーマ「いま求められるもの」を見つけ出し、年度の活動方針を推進して行こうと計画いたしました。

<運営方法>

1. クラブの活性化を計り、会員増強に、全力を上げる。
純増10%以上を目標とする。
2. 楽しい例会作りのためにも、100%出席例会を年に数回、達成を計り、出席率を最終に95%を目指す。
3. ロータリー財団寄付金、全員一人当たり150ドル以上をお願いする。
4. 米山奨学会寄付金、会員一人当たり¥20,000以上お願いする。
5. 四大奉仕部門を中心とした各委員会の充実、活性化を計る。
6. 地区テーマでもあるいま求められる、何か意義のある業績の推奨。

以上が当時私が理事、役員のご協力を得て、必死で考えて作った、活動方針であり、今はたいへんなつかしく思い出されます。

さてこうして作った方針をかかげて、私自身悔いの残らないよう精一杯やったつもりでしたが…。

<活動報告>

当時の活動報告を、1~6方針内容に順次で、振り返りますとー

1. 会員増強に関しては、退会員が無く9名の新入会員が誕生し、クラブとして純増20%、会員数48名に達し、地区においては最高の成績があげられ、次年度の地区大会に表彰されました。

2. 100%出席例会は、年間たった2回しか達成が出来ませんでしたが、当時クラブとして、実に3年ぶりの全員出席となりました。しかし出席率は、以前として、地区平均を下回り、出席率向上とまでは行くことが出来ませんでしたが、今後100%出席例会日数多く達成することによって、これからの出席率向上の一手段としてなることが確認できました。

3. 4. については、例年継続事業でございますので、無理せずという方針をよく委員長さんがご理解していただき、余裕を持って地区目標をクリアしていただき、以後連続して地区表

彰を頂くことになりました。

5. に関しては、その年は、各委員会が方針に基づき、計画通り実行していただいたことにより、充実、活性化がなされたと思っております。特に、増強、親睦のクラブ奉仕部門と、国際、姉妹クラブ部門に関しては、たいへんな、ご苦勞をかけることになりました。

最後に何か意義のある業績としては、四大奉仕部門から、

○社会奉仕として

和泉市子供会結成30周年という記念すべき年度に当たり、各校区に記念のカップ28個を寄贈出来たこと、又、和泉市の玄関口であるJR和泉府中駅前広場の整備事業の一つとして、和泉の地場産業であるもめんを形どったステンレス製のモニュメントの設置に参加出来たことがあげられます。

○クラブ奉仕として（親睦委員会）

今回初めての試みであった一泊での文化同好会とゴルフ同好会の合同の事業を行ったこと。同好会の行事としては、過去最高の22名の参加を得ることができました。又これ又初めての行事であります家族そろってのボーリング大会を2回実施し、計52名の参加を頂きました。

その他、恒例の行事として、家族会、ゴルフコンペ等を行いました。どれもがたいへん多くの、会員ご家族のご参加を得たことが記憶に残っております。

○職業奉仕として

奥野職業奉仕委員長のご尽力により、恒例の職場見学として、キューピーマヨネーズ伊丹工場を見学することが出来ました。その見学の前に会員事業所見学を兼ねて、奥野委員長が経営されておられる“吉泉”にて昼食会を行い、奥野さんの娘さんが、愛想をふりまきながら、お店を切り盛りしている姿が思い浮かべられました。

○最後は、なんとと言っても国際奉仕として、国際奉仕委員長を中心に姉妹クラブ委員会が行った、当クラブ、二つ目の姉妹クラブとして、タイ国プラバトムチェディR、Cとの姉妹締結だったと思います。

当時タイ国と姉妹クラブを結んでおられるロータリークラブは、地区はもちろん大阪でも初めてだったと思います。又女性が大半を占めているクラブとの姉妹締結は、おそらく世界中で当和泉南ロータリークラブが一番乗りではなかろうかと思ひます。

以上が私自身が感じた意義ある事業であります。こうしてたくさんの方の行事、事業が無事に成功裡に終えたことは、当時の小林副会長、岸脇幹事、各理事はもちろんのこと全会員のご協力とご指導、ご支援の賜物と今ながらも感謝の気持ちでいっぱいです。

1991~1992

役員名簿

理事	会長	深 阪 好 孝	理事	田 中 敏 博
	副会長	小 林 信 夫	理事	谷 口 隆 男
	幹事	岸 脇 淳 介	S · A · A	乾 治 郎
	会長エレクト	松 葉 勉	会 計	星 野 泰 之
理事	奥 野 聖 二			

担当	委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕 担当理事 小林信夫	クラブ奉仕	小林 信夫 (副幹事兼務)	鈴木 寿郎	クラブ奉仕の各委員長
	会員増強	坂口 陸夫	安井 征雄	老木英男
	会員選考	中塚 一	岡 豊一	坂口陸夫
	職業分類	大桑甚加①	小嶋 肝②	田中敏博③
	情報	仲村陸啓①	阪口吉男②	林 武史③
	広報	浅井 明	辻 林 俊彦	井上啓二・森永牧雄・阪口吉男
	雑誌	小嶋 肝	中嶋 征夫	露口義典・橋本光宏
	親睦	鈴木 寿郎	葛城 好隆	林 武史・和田正臣・池邊 平 三宅 勲・相澤 仁
	出席	中塚 重男	田 所 貞愛	岡 豊一・大桑甚加・辻林孝裕
	クラブ会報	西野 清	藤原 政信	北村一郎・辻林俊彦
	プログラム	森本 薫	仲村 陸啓	浅井 明
歌唱	安井 征雄	井上 啓二	鈴木寿郎・藤原政信・井之上和正	
S・A・A	乾 治 郎	辻 林 俊彦	仲村陸啓・藤坂多聞・藤原政信 法橋徳七	
職業奉仕 小委員会 担当理事 奥野聖二	職業奉仕	奥野 聖二	本 宮 正	森田章裕・藤坂多聞・岡 豊一
	職業就職相談	藤坂 多聞	和 田 正 臣	
	職業指導	森田 章裕	森本 薫	
	職業情報	本 宮 正	西野 清	
	職業活動表彰	岡 豊一	中塚 一	
社会奉仕 担当理事 田中敏博	社会奉仕	田 中 敏 博	阪 口 吉 男	田所貞愛・谷上茂樹
	青少年	田 所 貞 愛	和 田 正 臣	大桑甚加・森永牧雄・榎本恵造
	高齢者	阪 口 吉 男	露 口 義 典	本 宮 正・池 邊 平・小 野 林 秀 悟
	環境保全	林 武 史	小 嶋 肝	星野泰之・乾 治郎・藤原秀民
国際奉仕 担当理事 谷口隆男	国際奉仕	谷 口 隆 男	古 下 義 隆	老木英男・北村一郎・林 武史
	財 団	古 下 義 隆	坂 口 陸 夫	中塚 一・中塚重男・田所貞愛
	米山奨学会	老 木 英 男	葛 城 好 隆	森田章裕・森本 薫
	姉妹クラブ	北 村 一 郎	橋 本 光 宏	老木英男・安井征雄・浅井 明
アクティブ委員会		中嶋 征夫	老 木 英 男	坂口陸夫
	会 計	星 野 泰 之	辻 林 俊 彦	